

【公開保育の評価・自己評価】

法人・施設名称	園長名	作成日
社会福祉法人 都城市社会福祉協議会 谷頭こども園	金丸 恵美子	2025 年 12 月 21 日

評価の記録（まとめ）

	評価者 A	評価者 B	評価者 C
	他の乳幼児施設職員または地域の 幼児教育・保育関係者	小学校等の他校種教員等	幼児期の教育・保育に専門的知見を 有する外部有識者
良い点	・園庭も室内も十分な広さがあり、きれいに整えられていて清潔感がありました。先生方も言葉がけや関わり方が丁寧なので、子どもたちの遊び・食事など安心して落ち着いて過ごしている印象を受けました。食事の準備、食事の様子を見て自園でも参考にさせていただき、少しずつ見直しをしています。 ・室内外に、おもちゃや遊具がたくさんあり、発達に合わせたものや興味関心に合わせて多種類に及び、きれいに並べられ子どもたちも手に取りやすく、ワクワクするような環境でした。各クラスの布素材の玩具、イスの高さの調節のためのマットなど手作りのものも多く、それを見ても一つ一つに丁寧な関りが感じられました。	・「こどもが主役」の理念のもと、全職員がそれを理解し、実践していることが随所に見られた。遊びを中心とした活動も給食の時間も子どもたちの思いを確認する声かけを保育者が行い、それに園児がしっかり答えていた。 ・3, 4, 5 歳児が縦割りで活動することで、年長者が遊び方やルールを教える立場になり、自尊感情の高揚にもつながっている。ネームのクリップやカード等、一人一人が大切にされていることを実感できるものだった。 ・子どもたちが活動に没頭できるような環境づくりがされていた。特に、子どもの想像を広げるような保育者の意図的な支援や模擬遊びを楽しませるための遊具等の整備等は素晴らしかった。	・子ども主体の保育を実践し、その保育が保護者にも浸透しているように感じます。保護者にとって園の方針が変わることは大きな出来事かつ大きな不安です。そのような保護者に対して丁寧に説明し、実践してきた成果が表れ始めていると感じました。 ・子どもが園での生活を保護者に話すということは、その生活が楽しいということです。お友だちとのこと、給食のこと、先生のことなど話す内容は様々ですが、園での生活が保護者とのコミュニケーションのきっかけになっていることは素晴らしいです。

	・以上児のカラカラ積み木での作品なども保育者が一緒にしながら興味や関心へと繋げているのが伝わり、積み木などを積み上げる経験を未満児から重ねていて、その経験が以上児になって大作へとつながっていると感じました。 ・子ども自ら考え、気づく言葉がけや協同的な遊びの展開など、先生方が皆で園の方針や考えを共有し、そのためのより良い環境づくりを学び工夫されているのが感じられ、自園はどうか、と環境や関わり方について考えるきっかけにもなりました。ありがとうございました。		・子ども主体の保育を実践した成果は、保護者にも伝わってきています。子どもが自分でやってみたいという意欲が育まれていると保護者が実感していることは素晴らしい結果です。 ・保育室や園庭を清潔かつ安全に整備している点、防災設備の整備など、子どもたちが安全・安心に生活する環境を構成されていることはとても評価できることですし、そのことが保護者にも伝わっていることは素晴らしいことです。
改善点及び更に期待する点		・小学校でも個別最適化を目指して授業改善を図っているが、考え方、取組みとしてとても参考になるものであった。現在保・幼と小学校をつなぐ架け橋期プログラムの改訂が進められているが、小学校でもこのような取組みがなされていることをアナウンスすると共に、コロナ禍で途絶えている職員や児童との相互交流もよいのではないかと。	・子ども主体の保育を実践している様子を拝見することができました。保育者の自己評価にあった、子ども主体の保育を実践するあまり、保育者への配慮が欠けていると感じる保育者がいることも今後の課題として検討していったほしいものです。管理職の思い描かれている保育の姿が他の職員さんと共有できているのか、定期的な園内研修などを通して共有していただく。

評価を受けて	今回の評価を受けて、おごることなく『こどもが主体で丁寧な教育・保育の実行』を改めて進める意を確認したところである。こども、保護者、そして職員に対する配慮と丁寧さについて、園の評価及び問題としてとして受け止め改善に結び付けたいと思う。 また、保護者のご意見は、ひとつひとつ文書で答え文書や SNS などで発信する予定である。職員の意見については丁寧にその対処を実行したい。 ブレの無い、保育方針と教育保育の内容、そしてその方法を確実に、継承しながら研修を通じて、職員と一緒に改善していきたい。 園長 金丸恵美子
--------	---